

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 東京歯科大学 名誉教授 下野 正基 先生
2. 演 題 Revascularization の可能性
3. 日 時 平成30年2月1日(木)17時00分～20時00分
4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)5F 保存矯正示説室
5. 要 旨

Revascularization は、歯髄壊死を伴った根未完成歯に血管再生と硬組織形成を起こさせる処置である。Revascularization が根未完成歯のみならず、感染根管を有する根完成歯への応用が可能となるなら、それは革新的な夢の再生歯内療法となるにちがいない。

今回の講演では、revascularization の特徴とその意義、治療のポイント、臨床的課題、病理学的考察、そして夢の治療法に繋がる可能性、について考察してみたい。

関連文献

Iwaya S, Ikawa M, Kubota M. Revascularization of an immature permanent tooth with apical periodontitis and sinus tract. Dent Traumatol 17: 185-187, 2001.

岩谷眞一. リバスクラリゼーションを再考する. The Quintessence 35: 572-589, 2016.

下野正基. リバスクラリゼーションの病理学的考察. The Quintessence 35: 1588-1605, 2016.

下野正基. Revascularization (再生歯内療法) の課題と可能性. 日本歯内療法学会誌, 38: 1-12, 2017.

連絡先: 川島 伸之 (歯髄生物学分野 内線 5495)